



国際音楽祭 NIPPON 2024 芸術監督: 諏訪内晶子



【東京開催】Tokyo

AKIKO SUWANAI Plays モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 全曲演奏会

Mozart The Complete Violin Concertos

1月11日(木)19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
January 11 Thu. 19:00 Tokyo Opera City Concert Hall

1月12日(金)19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
January 12 Fri. 19:00 Tokyo Opera City Concert Hall

AKIKO Plays CLASSIC & MODERN with Friends ~ Vienna 1800 & 1900

CLASSIC ~ Vienna 1800 ~

2月19日(月)19:00開演 紀尾井ホール
February 19 Mon. 19:00 Kioi Hall

MODERN ~ Vienna 1900 ~

2月21日(水)19:00開演 紀尾井ホール
February 21 Wed. 19:00 Kioi Hall

シューマン室内楽マラソンコンサート

R.Schumann Chamber Music Marathon Concert

2月23日(金・祝) 東京オペラシティ コンサートホール
February 23 Fri. Tokyo Opera City Concert Hall

【第1部】11:00開演 【第2部】14:00開演 【第3部】16:00開演 【第4部】19:00開演



【愛知開催】Aichi

AKIKO SUWANAI Plays モーツァルト ヴァイオリン協奏曲

Mozart Violin Concertos

1月13日(土)18:00開演 三井住友海上しらかわホール
January 13 Sat. 18:00 MS&AD SHIRAKAWA HALL

ミュージアム・コンサート

Museum concert

2月18日(日)19:00開演 トヨタ産業技術記念館 エントランス・ロビー
February 18 Sun. 19:00 Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology Entrance Lobby



【岩手開催】Iwate

～諏訪内晶子&フレンズ～ コンサート in 大船渡

AKIKO SUWANAI & Friends Concert in Ofunato

2月17日(土)14:00開演 大船渡市民文化会館 リアスホール
February 17 Sat. 14:00 Rias Hall(Ofunato City Culture Hall)



【神奈川開催】Kanagawa

公開マスタークラス <チェロ部門>

Open Master Classes <Cello Division>

2月11日(日・祝) フィリアホール リハーサル室(横浜市青葉区民文化センター)
February 11 Sun. PHILIA HALL/Rehearsal Room (Aoba Civic Cultural Center)

2月12日(月・休) 横浜みなとみらいホール 小ホール
February 12 Mon. Yokohama Minatomirai Hall Small Hall

公開マスタークラス <ヴァイオリン部門>

Open Master Classes <Violin Division>

2月26日(月)・27日(火) フィリアホール(横浜市青葉区民文化センター)
February 26 Mon. and 27 Tue. PHILIA HALL (Aoba Civic Cultural Center)



主催: ジャパン・アーツ/日本経済新聞社/大船渡市(2/17)

共催: [愛知] 中日新聞社/CBCテレビ [岩手] 岩手日報社/IBC岩手放送

後援: ドイツ連邦共和国大使館/オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム/在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本
東海新報社(2/17)

特別協賛: 豊田自動織機 TOYOTA 豊田通商 AISIN

協力: ユニバーサル ミュージック/トヨタ産業技術記念館(2/18)

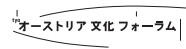
[神奈川] フィリアホール(横浜市青葉区民文化センター)/横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

企画制作: ジャパン・アーツ

プログラム監修: 沼野雄司 船木篤也

マネジメント: [東京] ジャパン・アーツ [愛知] クラシック名古屋

制作協力: [岩手] 岩手県文化振興事業団



INTERNATIONAL
MUSIC FESTIVAL
NIPPON

Artistic Director: Akiko Suwanai

国際音楽祭
NIPPON
2024

芸術監督: 諏訪内晶子



©TAKAKI KUMADA

ミュージアム・コンサート

2月18日(日)19:00 トヨタ産業技術記念館 エントランス・ロビー



皆様と「国際音楽祭NIPPON 2024」で再びお目にかかれまことを、大変嬉しく思っております。音楽祭がスタートしてから早10年が経ちました。約3年間続いたコロナ禍でも、開催をする事が可能であったいくつかの演奏会では、日本の優れた若い演奏家達、またその演奏に共感して下さる聴衆の皆様との出会いがあり、新たな喜びを感じております。

この度も、国内外から多彩な素晴らしい音楽家にお集まりいただきます。オーケストラ公演では、ジュリアード音楽院で共にヴァイオリンを学び、その後指揮者となった、ウィーン出身のサッシャ・ゲツツェル氏を指揮者に迎え、音楽祭のために特別に編成された『フェスティヴァル・オーケストラ』との公演が実現します。また、前回のブラームス室内楽マラソンに続き今回はシューマン室内楽マラソン、1800年と1900年のウィーンを中心にプログラムを組んだ室内楽プロジェクト、ミュージアム・コンサートでは、安良岡章夫氏の委嘱作品初演があります。

10年の時間を重ね、かつてマスタークラスを受講された方々が、再び演奏家としてこの音楽祭に参加して下さることも、この音楽祭の特徴の一つとなりつつあります。

この度も変わらずご支援をいただいております企業の皆様、関係の皆様へ厚く御礼申し上げます。

国際音楽祭NIPPON 2024
芸術監督
諏訪内 晶子

I am very happy to see everyone once again at the International Music Festival NIPPON 2024. It has been ten years since our music festival began. Even during the three-year Covid-19 pandemic period, the relatively small number of concerts we were able to present gave us opportunities to encounter outstanding young musicians from Japan, as well as audiences who were in sympathy with and inspired by their performances, and to experience renewed joy.

In 2024, wonderful and diverse musicians from Japan and around the world will gather at the festival once again. We are pleased to present orchestra concerts in which the Viennese maestro Sascha Goetzl—with whom I studied violin at the Juilliard School and who subsequently became a conductor—will lead the Festival Orchestra, an ensemble brought together especially for this music festival. Also featured are a Schumann chamber music marathon following the previous edition's Brahms chamber music marathon and, in the chamber music project and the Museum Concert which will focus on 19th and 20th century Vienna, the premiere of a commissioned work by Akio Yasuraoka.

With our ten-year history, a special feature of this music festival is that those who previously participated as master class students are returning to participate in the festival as musicians.

I would like to express my sincere thanks once again to the corporations that have provided continued support, and to everyone who has helped make the festival possible.

Akiko Suwanai
Artistic Director
International Music Festival NIPPON 2024

国際音楽祭NIPPON 2024 芸術監督：諏訪内晶子

ミュージアム・コンサート

Museum Concert

2月18日(日) 19:00 名古屋 トヨタ産業技術記念館 エントランス・ロビー

February 18 Sun. 19:00 Nagoya Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology, Entrance Lobby

ベートーヴェン：2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲 変ホ長調 WoO 32 (鈴木/メインツ)
L. v. Beethoven: Duo for Viola and Cello in E-flat major, WoO 32 "With 2 Obligato Eyeglasses"

第1楽章：(アレグロ) 1st Mov.: (Allegro)
第2楽章：ミヌエット、アレグレット 2nd Mov.: Minuetto. Allegretto

安良岡章夫：ステッラ・ビナーリア〜2台のヴァイオリンのための

(国際音楽祭NIPPON委嘱/世界初演) <2023> (シュミット/諏訪内)

Akio Yasuraoka: 《Stella Binaria》 per 2Violini
Commissioned Work by International Music Festival NIPPON (Worldpremiere) <2023>

モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581 (諏訪内/シュミット/鈴木/メインツ/メイエ)

W. A. Mozart: Clarinet Quintet in A major, K.581
第1楽章：アレグロ 1st Mov.: Allegro
第2楽章：ラルゲット 2nd Mov.: Larghetto
第3楽章：メヌエット 3rd Mov.: Menuetto
第4楽章：アレグレット・コン・ヴァリアツィオーニ 4th Mov.: Allegretto con variazion


■ 出演者 ヴァイオリン：諏訪内晶子、ベンジャミン・シュミット
Violin: Akiko Suwanai, Benjamin Schmid

ヴィオラ：鈴木康浩
Viola: Yasuhiro Suzuki

チェロ：イェンス＝ペーター・メインツ
Cello: Jens-Peter Maintz

クラリネット：ポール・メイエ
Clarinet: Paul Meyer

主催：ジャパン・アーツ/日本経済新聞社 共催：中日新聞社/CBCテレビ

後援：ドイツ連邦共和国大使館  ドイツと日本
Zukunft gestalten
の未来を共に築く
/ オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム  オーストリア文化フォーラム

在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本 

協力：ユニバーサル ミュージック/トヨタ産業技術記念館

マネジメント：クラシック名古屋

特別協賛：  豊田自動織機  TOYOTA  豊田通商  AISIN

Program Notes

ベートーヴェン:2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲 変ホ長調 WoO 32

謎めいた題をもっと平易に訳すなら「眼鏡が2つ要る二重奏曲」とでもなるか。ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)が知り合いのヴィオラ奏者とチェロ奏者のために書いたもので、この二人が眼鏡をかけていたのだろう。19世紀の終わりにスケッチのかたちで発見された。4楽章構成が計画されていたようだが、演奏可能なのは冒頭のアレグロ楽章と、メヌエット楽章のみ。それらにしても、強弱や弓遣いの指定はなく、出版者や奏者が独自に判断せねばならない。作曲は1800年「頃」とされている(1796年説あり)が、いずれにしても、ベートーヴェンが生まれ故郷ボンからウィーンに移ってから作品である。

(船木 篤也[音楽評論])

安良岡章夫:ステラ・ビナーリア〜2台のヴァイオリンのための(2023)

《Stella Binaria》は天文用語で連星を意味するイタリア語である。連星には、両星間の距離が近すぎてガスの外層を共有したり、互いの重力で形が歪んだり、伴星が主星(明るい方)の手前を日食のように横断し光度を変化させる等、様々な種類が存在する。2台のヴァイオリンによる新作という委嘱を頂いた際、先ずは2人の奏者による協奏・隔離(遠近感)・拮抗を意図したが、その発想と各種連星の軌道運動に相通ずるものがあり、このタイトルに至った。

曲は右手・左手によるピッツィカートが主体の点描より導入、次第に自然倍音による淡い音像へと推移する。突如角張った2つの線が絡み合い、重音による量感のある楽想と交錯し、多様な運動を生みつつ展開された後、冒頭の点描が再現し曲を閉じる。19日にパガニーニ作品が演奏されることに準じ、彼の技巧を意識的に取り入れた。昨年9月から11月にかけて作曲。演奏時間約8分30秒。(安良岡 章夫)

安良岡 章夫(やすらおか・あきお)

1984年東京藝術大学大学院修了。野田暉行、三善晃の両氏に師事。日本音楽コンクール第1位、日本交響楽振興財団作曲賞、芸術祭優秀賞等受賞。桐朋学園大学作曲科教授を経て現在東京藝術大学教授。これまでに理事、副学長を歴任。多彩な作曲活動を行うと共に、現代作品の指揮にも力を入れ、多数の作品の初演を手掛ける。

モーツァルト:クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581

ベートーヴェンの先輩、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)もウィーン移住組で、ザルツブルクからやってきた。わずか35年となる人生の、最終局面において。クラリネット五重奏曲の創作は1789年と、なかでも晩年にあたる。

18世紀ようやく発展をみた新参の楽器、クラリネットに、モーツァルトはこのほか魅せられていたというが、本作に関しては刺激をもらった具体的な人物がいる。ウィーン宮廷楽団の名クラリネット奏者、アントン・シュタードラーである。当時開発された低いハ音まで出るバスクラリネット(現在でいうバセットクラリネット)を見事に奏した人で、モーツァルトは彼が吹くこの楽器への「当て書き」としてこの五重奏を書いた。現在ではしかし、たいてい通常のクラリネットで吹く。早春の青空のように美しい全4楽章。

(船木 篤也[音楽評論])

Profile

Akiko
Suwanai



諏訪内 晶子 (国際音楽祭NIPPON2024 芸術監督/ヴァイオリン)

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュ、ゲルギエフらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ロンドン響、ベルリン・フィル、N響など国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。

2012年、2015年、エリーザベト王妃国際コンクール、2018年ロン=ティボー国際コンクール、2019年チャイコフスキー国際コンクールヴァイオリン部門審査員。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。また、これまでにデッカより15枚のCDをリリースしている。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学で学び、2021年学術博士課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。

使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のグアルネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。

Akiko Suwanai (Violin/Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2024)

Akiko Suwanai was the youngest ever winner of the International Tchaikovsky Competition in 1990. She has performed with the world's foremost orchestras, including the Boston Symphony, Philadelphia Orchestra, Orchestre de Paris, Berlin Philharmonic, and NHK Symphony Orchestra, under the batons of Ozawa, Maazel, Dutoit, and Sawallisch, just to name a few. She has appeared in numerous international music festivals including the BBC Proms, Schleswig-Holstein, Lucerne and others. Suwanai was a jury member of the violin divisions of the Queen Elisabeth International Music Competition of Belgium in 2012 and 2015, the Concours International Long-Thibaud-Crespin in 2018, and the International Tchaikovsky Competition in 2019. Since 2012, Akiko Suwanai has been Artistic Director of the International Music Festival NIPPON, which she plans and produces. She has released 15 CDs on the Decca label. Akiko Suwanai studied at Toho Gakuen Music High School and completed the Soloists' Diploma Course of Toho Gakuen College of Music. After studying at the Juilliard School and Columbia University on the Artist Overseas Training program sponsored by the Agency for Cultural Affairs, she received a master's degree in Music from the Juilliard School. She also studied at the Universität der Künste Berlin, and in 2021 completed the doctor of arts program and received the Konzertexamen degree, Germany's qualification for outstanding musicians.

Akiko Suwanai performs on the "Charles Reade" Guarneri del Gesù violin c1732, on long-term loan from Dr. Ryuji Ueno, who has Japanese roots and lives in the United States.



*Benjamin
Schmid*

ベンジャミン・シュミット (ヴァイオリン)

1992年カール・フレッシュ・コンクール優勝。小澤征爾指揮/ウィーン・フィルをはじめ、ロンドン・フィル、サンクトペテルブルグ・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管などの著名オーケストラと共演。60枚以上のCDをリリースし、ドイツ・レコード賞ほか多数受賞。ジャズ即興でも高い評価を得ている。ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授。ミュンヘンをはじめとする国際コンクールの審査員を務める。

Benjamin Schmid (Violin)

Winner of the Carl Flesch Competition in 1992. Benjamin Schmid has performed with renowned orchestras such as the Vienna Philharmonic Orchestra conducted by Seiji Ozawa, the London Philharmonic Orchestra, Saint Petersburg Philharmonic Orchestra, and Concertgebouw Orchestra. He has released over 60 CDs and received numerous awards including the German Record Critics' Award. He is also highly acclaimed for his jazz improvisations. Schmid is a professor at the Mozarteum University Salzburg. He has served as a jury member for international competitions including the ARD International Music Competition Munich.



*Yasuhiro
Suzuki*

鈴木 康浩 (ヴィオラ)

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。第7回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位ほか受賞多数。2001年よりカラヤン・アカデミーで研鑽を積み、ベルリン・フィルの契約団員となる。サイトウ・キネン・フェスティバル、宮崎国際音楽祭など多方面で活躍。国際音楽祭NIPPON2020、2022参加。

Yasuhiro Suzuki (Viola)

Yasuhiro Suzuki is a principal solo violist with the Yomiuri Nippon Symphony Orchestra. Suzuki has won many prizes, including 1st Prize in the high school division of the Tokyo round of the 47th Student Music Concours of Japan. Suzuki trained at the Karajan Academy in Germany starting in 2001, and became an associate member of the Berlin Philharmonic. His wide-ranging activities also include appearances at the Saito Kinen Festival and the Miyazaki International Music Festival. He participated in the International Music Festival NIPPON2020 and 2022.



*Jens-Peter
Maintz*

イェンス＝ペーター・マインツ (チェロ)

1994年ミュンヘン国際音楽コンクールにおいてチェロ部門17年ぶりの優勝者となる。2006年よりクラウディオ・アバドの招聘をきっかけにルツェルン祝祭管弦楽団ソロ・チェリストを務めている。これまでにアシュケナージ、ブロムシュテットらと共演。2004年よりベルリン芸術大学教授。

Jens-Peter Maintz (Cello)

In 1994, he won first prize at the ARD International Music Competition, which had previously not been awarded to a cellist for 17 years till then. He has been principal cellist of the Lucerne Festival Orchestra since 2006, at the invitation of Claudio Abbado. He has appeared as a soloist under the baton of conductors such as Vladimir Ashkenazy, Herbert Blomstedt. Since 2004 he has been professor at Berlin University of the Arts.



*Paul
Meyer*

ポール・メイエ (クラリネット)

名実共に世界のトップに立つクラリネット奏者。完璧な技術とずば抜けた音楽性、品のある豊かな音色を併せ持つ。ソリスト、室内楽、指揮者として幅広く活動し、現代最高のフランスの木管奏者達と結成した「レ・ヴァン・フランセ」のメンバーとしても活躍。

Paul Meyer (Clarinet)

A clarinetist at the international pinnacle of his field in both name and brilliance, Paul Meyer combines consummate technique with outstanding musicianship and a rich, elegant tone. Widely active as a soloist, chamber musician and conductor, Meyer is a member of Les Vents Français, a group he formed together with some of the finest French woodwind players of our time.

22世紀を

移動の真ん中に

AISIN

動かそう

www.aisin.com/jp 株式会社 アイシン

トヨタ自動車株式会社



モビリティを通じて、もっと住みやすい社会に。

全ての人が、楽しく自由に移動できる世界を、想像してみませんか。

もうすぐそこに、そんな社会が近づいて来ています。

私たちは、誰もがそれぞれの可能性にチャレンジできる社会づくりを目指しています。

TOYOTA

2050年、この星のどこかで。
君たちは笑っていますか。



カーボンニュートラルという言葉がまだなかった数十年前から、
グループ全社をあげて、脱炭素に取り組んでいます。

未来の子供たちに、よりよい地球環境を。
とどける商社、豊田通商。

Be the Right ONE
豊田通商

組み立てると未来ができる。



創業から続く繊維機械事業を原点に、
自動車や産業車両、物流ソリューションへと、
人々の暮らしを豊かにする事業に挑戦してきました。
これからも新たな領域に挑み、
温かい社会づくりに貢献する企業であり続けます。

豊田自動織機

www.toyota-shokki.co.jp